

オープンキャンパス2014 中野キャンパスで初の単独開催 —駿河台、生田と合わせて約5万5000人が来場—



初開催の中野キャンパス。めいじろうもキャンパスツアーの案内役に

明治大学のキャンパスを受験生らに開放し、さまざまなプログラムを通じて大学生活の一端を体験してもらう夏の恒例行事「オープンキャンパス」が8月、駿河台・生田・中野の3キャンパスで計6日間行われ、延べ約5万5000人が来場。高校生やその保護者らでキャンパス周辺がにぎわいを見せた。

今年のオープンキャンパスは、文系学部プログラムが中心の駿河台で8月2～4日の3日間、理系学部のプログラムが中心の生田で8月8、9日の2日間開催。昨年開校した中野では、国際日本学部・総合数理学部が中心のプログラムで8月21日に催され、大規模にキャンパスを開放した。



今回、初の単独開催となった中野には約7000人が来場し、学部のガイダンスや模擬授業では立ち見が出るほどの盛況ぶ



立ち見が出るほど盛況な模擬授業

り。学生生活を紹介する現役学生のトークライブや、50分ほどかけてキャンパス内を案内するキャンパスツアーにも多くの来場者が参加し、最先端の施設や設備に触れた。各教室で行われた常設展示やデモンストレーションでは、中野で学ぶ国際日本学部や総合数理学部の特徴を学生たちが率先して発表。来場者らは大学での学びを肌で感じていた。

平成26年度スーパーグローバル大学等事業 「スーパーグローバル大学創成支援」(タイプB) に本学の申請が採択



本年度、文部科学省が公募したスーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」のタイプB：グローバル化牽引型に、本学の申請(構想名「世界へ! MEIJI8000—学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成—」)が採択された。

本事業は、文部科学省が国際化を徹底して進める大学を重点支援することにより、日本の高等教育の国際競争力を強化し、グローバル人材の育成を図ることを目的としており、今回、本学が採択されたタイプB：グローバル化牽引型には本学を含む24校が、また、タイプA：トップ型には13校が採択された。

本学が構想に掲げる「未来開拓力に優れた人材」とは、グローバル化がもたらす多様な価値の世界で、自ら考え、自ら意思決定し、自ら新しい価値を創造する人材であり、その育成は、主体的学びを通じてのみ可能となる。本学が考えるスーパーグロー



バル大学とは、こうした主体的に学ぶ学生を育てる大学のことであり、「MEIJI8000」とは毎年の卒業生8000名を「未来開拓力に優れた人材」として育てるという本学の決意を表している。

総合大学として、全面的な教育改革を推進していくことで、世界と日本の未来を切り拓くことのできる主体的な人材を社会に送り出すために、スーパーグローバル大学として、徹底した大学改革と国際化を展開していく。